

2022年7月8日

各位

**日本製薬から承継する製造販売承認の時期の決定について**

富士製薬工業株式会社（本社：東京都千代田区、以下「当社」）は、2021年12月28日付の「日本製薬から富士製薬工業への4製品の製造販売承認の承継について」にてお知らせいたしましたサルプレップ®配合内用液、ミンクリア®内用散布液0.8%、フォリアミン®（注射液、錠剤、散剤100mg/g）、オスバン®消毒液（10%、0.025%、0.05%、0.1%、オスバンラビング®）（以下、「本譲受対象製品」）の製造販売承認につき、2022年10月1日より日本製薬株式会社（以下、「日本製薬」）から承継することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

本譲受対象製品は、日本製薬において、多くの患者さまのニーズを満たす重要な役割を担ってまいりました。2021年末の資産譲渡契約の締結、および、2022年2月28日付の「日本製薬からの承継に関する資産譲受完了について」に伴い、同年3月1日より当社が適正使用情報等の提供ならびに安全情報の収集・伝達を行ってまいりましたが、製造販売承認は引き続き日本製薬が保有しておりました。今回の製造販売承認の承継により、2022年10月1日以降、本譲受対象製品の製造販売承認元は当社となります。

本件は当社の中期経営計画の4つの成長シナリオのうち、「女性医療領域No.1へ」および「バイオシミラー事業の確立」の2つのシナリオに貢献致します。

女性医療領域に関しては、2029年9月期末に到達したい「ありたい姿」を定めた2030年ビジョンの1つに、「世界の女性のwell-beingの向上に貢献している」と掲げており、今回承継する葉酸注射液/錠・散「フォリアミン®（注射液、錠剤、散剤100mg/g）」は、女性に多いリウマチの治療において併用されることが多い製剤であることから、女性のwell-beingの向上に資する製剤です。また、本譲受対象製品には、当社の今後のバイオシミラー事業に関連する領域の製品も含まれており、相乗効果を期待しております。

今後も、「優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する」という経営理念のもと、医療の現場に今まで以上に貢献することができるよう取り組んでまいります。

**【本件に関するお問い合わせ】**

経営企画部 コーポレートコミュニケーション課  
TEL : 03-3556-4430 E-mail : [fsk\\_ir@fujipharma.jp](mailto:fsk_ir@fujipharma.jp)